

歴史と文化をめぐるぶらぶら散歩

★四谷編★

美濃国高須藩主 松平家上屋敷跡 (策の池)
高須藩主松平家上屋敷の庭園の泉水の跡。明治以降は花柳界があった。現在の荒木町の元となっている。

四谷といえば頭は浮ぶのが鶴屋南北の戯曲『東海道四谷怪談』の作中が初演されたのがお岩、伊右衛門夫妻没後、二百年。実際は内通な家庭で怪談とはかなりちがったようだ。神社を訪ねてみる。女性のお岩が目につく。道沿いにはせんた陽明寺と共に甚道上達経がびびり利益があるといふ。ここ四谷は路地の多い街だけに角を曲がると新しい発見にワクワクするエリアです。

元禄七年(1698)製作された水戸黄門銅製の阿弥陀如来坐像

とんかつ 鈴屋新のかけがえのない

人気はかつ丼。3種のうちサクサク卵の「かけがえ」を注文(1,200円)。厳選した食材で作るかつ丼はパロリと食べられる

江戸時代の消防風景のジオラマや大正時代の消防自動車展示など見どころ

消防博物館 四谷消防署

午前9時30分～午後5時。月曜日、早稲田体育館。入場無料

東京メトロ丸の内線

須賀神社

天保七年に製作された三十六歌仙絵巻。選ばれた歌人と歌集一枚の絵に仕立てたもので社宝になっている(須賀神社)

文学堂 マトリエ

民音音楽博物館

区内でも数少ない戦災を免れた江戸時代の山門と本堂が残る(本性寺の山門。犀沙門堂も江戸時代の遺物)。

服部半蔵の墓

家康十六将の一人。服部半蔵は伊賀者自派。江戸城西門近くに居を構え整備にあたり、たぬの名手で西念寺に現存する

歴史をたどる
今回出合った史跡・文化財



神社・仏閣



須賀神社
須賀町5
四谷の総鎮守。毎年6月の例大祭のほか、11月には西の市も行われる。「三十六歌仙絵」は区指定有形文化財。 [MAP P.12-13] C-3

於岩稲荷田宮神社
新宿区左門町17
四谷怪談で有名なお岩さんの屋敷跡。実在したお岩さんは働き者の女性で、その家が繁盛したことにあやかって稲荷社ができた。 [MAP P.12-13] C-3



永心寺
須賀町11
曹洞宗の寺院。新宿区では珍しい江戸時代の山門と本堂が戦災を免れて残っている(内部は通常非公開)。 [MAP P.12-13] C-4

笹寺(長善寺)
四谷4-4
二代将軍・徳川秀忠ゆかりの寺院。寺の宝物には、秀忠の正室・お江の念持仏である「めのう観音」(通常非公開)も。 [MAP P.12-13] B-3

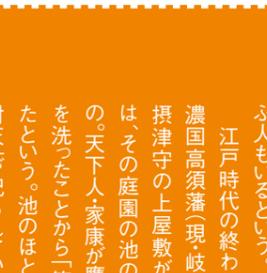
史跡・文化財等



服部半蔵の墓
若葉2-9 西念寺
伊賀者の頭領・服部半蔵の墓。家康からの拝領と伝えられる植も残る(通常非公開)。 [MAP P.12-13] C-3



高松喜六の墓
若葉2-8 愛染院
甲州街道の宿場「内藤新宿」の開設を幕府に願い出た高松喜六の墓。 [MAP P.12-13] C-3



美濃国高須藩主松平家上屋敷跡(策の池)
荒木町10
江戸時代の松平頼重屋敷の庭園の池の一部が残る(TOPICS参照)。 [MAP P.12-13] C-2

博物館



新宿歴史博物館
三栄町22
古代から現代までの新宿区に関する資料を保管している。模型や実物大再現などで新宿の歴史を紹介する常設展示のほか、特別展も開催。 [MAP P.12-13] D-2



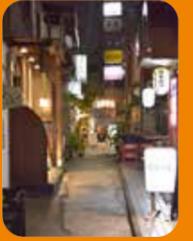
消防博物館
四谷3-10
消防の歴史と今を、体験しながら知ることができる。ヘリコプターのシートに座ったり、消防服姿で撮影できるコーナーも。 [MAP P.12-13] C-3

TOPICS

「撰津守の街」荒木町と「四谷の寺町」若葉・須賀町

東京メトロ四谷三丁目駅の北側に出て、荒木町界隈へ。駅から見てゆるやかな下り坂が続く。多士済々の個性的な飲食店が並ぶ。歴史と文化を感じさせる、ムードたっぷりの繁華街だ。

時代の面影を探してみるのも楽しい。一方、甲州街道を挟んだ南側、若葉・須賀町は寺社の街であり、かつては四谷南寺町と呼ばれた。通りに沿って、歴史ある寺が建ち並ぶ姿は壮観だ。



荒木町の街並

坂の行き着く先は「策の池」。この池に向かい、街全体がすりばち状の地形となっている。すりばちの底に降りる道は、急傾斜の石段坂で、瀟洒な雰囲気。フランスパリの絶景にちなんで「マンマルトルの坂」と呼ぶ人もいるという。

江戸時代の終わりまで、ここには美濃国高須藩現崎早島海津市松平撰津守の上屋敷があった。「策の池」は、その庭園の池の一部が残されたもの。天下人・家康が鷹狩の際に、もちを洗ったことから「策の池」の名がついたという。池のほとりには「津の守弁財天」が祀られているが、これは「撰津守」に由来。街の東側を通る「津の守坂」(ことにも、武家の時代の記憶を留めている。

明治維新後に屋敷地が解放されると、周囲は花街として賑わい、現在の荒木町へと発展していった。街並みや「策の池」を眺めながら、時代の



長谷川平蔵宣以供養碑

江戸時代の風情が、現代の街並みのなかにとけこむ四谷。江戸の歴史や文化に触れられるスポットをめぐっていると、都心にいなながらゆったりとした時間の流れが感じられるだろう。